

KENKYUSHA'S
ENGLISH-JAPANESE
DICTIONARY FOR
THE GENERAL READER

リーダーズ英和辞典

監修 松田徳一郎



KENKYUSHA

KENKYUSHA'S
ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY FOR
THE GENERAL READER



リーダーズ英和辞典

初版 第1刷 1984年
第12刷 1991年

監修者 まつだ とくいちろう 松田徳一郎
発行者 長井四郎
発行所 株式会社 研究社
〒102 東京都千代田区富士見2-11-3
電話 編集03 (3288) 7711
販売03 (3288) 7777
振替東京9-32260
組版 研究社印刷株式会社
写真製版 株式会社 近藤写真製版所
印刷 三英印刷株式会社
製本 株式会社 ケイ・ビー・ビー (研究社製本)

ISBN4-7674-1430-X C0582

PRINTED IN JAPAN

まえがき

近年、国の内外における英語辞典編集の進歩は著しく、特に学習辞典の進歩には目をみはるものがある。しかしながら、社会人・実務家の立場からすると、わが国の英語辞典の現状は改善の余地を多く残していると言わざるをえない。このような状況にかんがみ、本辞典はわが国の社会一般の読者の要望にこたえるべく企画された。先に研究社は『現代英和辞典』を刊行してこのような読者の要望にこたえようとしたのであるが、本辞典はまさに『現代英和辞典』の基本方針を継承発展させたものである。これを具体的に特色として述べれば次のようになるであろう。

まず全般的な方針として、読者が未知の語に出会って辞書を引いたとき、その語がそこになければ読者は大いに失望するにちがいないが、そのような失望をできるだけ少なくするよう最大限の努力をした。すなわち、与えられたスペースにできるかぎり多くの語を入れるようにした結果、本見出し、追い込み見出しおよび成句を合わせて約26万項目を収めることができた。これはこの種の比較的小型の辞典としては最高ではないかと思う。一定のスペース内で語数をふやせば1語の記述にあてることのできるスペースは必然的に小さくなるが、本辞典は、読むための情報に的をしばり、書くためあるいは話すために必要な情報と学習辞典の要素はある程度割愛して収録語数をふやすようにした。したがって、学習辞典に比較すれば例文などはかなり少ないかもしれない。しかしながら、本辞典は単に収録語数が多いということとどまらず、その種類にも幾つかの特色があると自負している。このことは、本辞典の語彙は類書のそれに比して格段に百科事典的であると言い換えることもできる。これを具体的に列挙すれば次のようになるであろう。

1. 熟語・成句を網羅的に収録したので熟語・成句辞典としても十分利用できる。
2. 口語・俗語・卑語も大胆に取り入れた結果、俗語辞典をも兼ねるようになった。ただここで断わっておきたいのは、口語・俗語・卑語を多数収録したのは単なる興味本位によるものではないということである。われわれにとって英語は外国語なればこそその措置である。一般の国語辞典であればかなりの部分がなくてもいいものだろうと思う。読者の賢明な利用を期待する。
3. 固有名を大幅に取り入れた。人名・地名に加えて、歴史的事件、各種団体の名称、さらには架空の人名・地名もできるかぎり収めた。従来、「ことば」の辞典は固有名を敬遠しがちであった。しかしながら、実践的な読書にあっては固有名は実に重要な役割を果たすのであって読書人はだれもこれを否定できないはずである。本辞典ではそれゆえ固有名のために多くの紙面をさいた。
4. 現代における科学技術の進歩は文字どおり日進月歩である。科学技術が進歩すればそれにみあったことばが必然的に生まれる。われわれはこの分野にもあえてドンキホーテ的に踏み込んで科学技術用語を貪欲に取り入れた。
5. 科学技術以外の分野についてもできるかぎり多くの最新の語を収録した。その結果、新語辞典としても十分使用にたえるものになったと思う。
6. 固有名と関連して実務家にとって重要なものに略語があるが、本辞典に収めた

略語の数と範囲は独立した小型の略語辞典のそれに比して遜色のないものである。

7. 語義の理解を助ける目的で数多くの語と句に語源あるいは句源を付けたが、小型辞典としては最も詳しいものと言えよう。

8. 擬音語を多く取り入れたことも本辞典の特色である。これらの擬音語の多くは英米の漫画から採集したものである。

9. 付録として世界地図、英米史を中心とした世界史年表、および世界の通貨表を掲げたが、現状における英文の理解は世界と世界史の視野に立って行なわれなければならないという考えに基づくもので、これらの付録はそれを助けるために付けた。

以上のように、本辞典は主として英語を読むためのものとしてその領域を比較的狭く限定しながら、同時にある意味では森羅万象を対象とするものになった。この目標は達成することはおろか、それに近づくことさえもわれわれだけの力ではおぼつかない。本辞典をよりよいものにするために各分野の専門家のご批判とご援助をお願いしたい。専門用語の訳語・内容説明は言うにおよばず、用法についてもご教示くださるよう切にお願い申し上げます。

ここで役割分担について一言述べておく。上述のとおり、本辞典には多くの百科事典的項目が含まれているが、これらの項目は主としてリーダーズ英和辞典編集部が調査・執筆にあたった。語源は木村建夫氏が担当し、付録の年表は英国史の専門家である東京外国語大学教授松村赳氏にお願いした。

英和辞典の名に値する他のすべての英和辞典と同じように、本辞典も先人の仕事に負うところ大である。中でも、本辞典が模範とした『現代英和辞典』の監修者故岩崎民平先生に負うところは絶大であり、炯眼な読者は岩崎先生の足跡をいたるところに見いだすであろう。不肖の弟子はただただ先生のお名前を汚すことを惧れる。

本辞典の編集は1973年に始まり、完成までに11年を費やした。この間、共同編集・執筆者のうち山下雅巳教授は1977年11月、横山一郎教授は昨年3月、幽明境を異にしてしまわれた。ここにつつしんで辞典の完成をご報告してお二人のご冥福をお祈り申し上げます。

最後に、この冒険的な企画に最初から深い理解を示され、長い年月にわたって強く支持してくださった研究社社長植田虎雄氏、非才の監修者を終始もりたててくださった共同編集・執筆者ならびにリーダーズ英和辞典編集部みなさんに心からお礼を申し上げます。また縁の下の方々の力持ちとして資料調査、整版、校正、制作にあたられた多くの方々のお名前を巻末に記して長年のご苦勞に深く感謝申し上げます。

1984年5月

松田 徳一郎

- 1.6 スワングダッシュ (～) は本見出しと同一つづりの部分の省略のために用いた。
 1.7 見出し語の上に付けたアクセント記号は、つづり字本来のものは **dé-jà vu** のように太く示し、単に発音の強勢アクセントを示すときは **áir·craft** のように細いもので示した。

II 発 音

国際音声記号を用い [] 括弧に入れて示した。音声記号の音価については、「発音記号表」(凡例 p. xviii) を参照。

- 2.1 母音の上にアクセント符 [ˈ] を付けて第1アクセントを示し、[ː] を付けて第2アクセントを示した。

例: **add** [æ(ː)d] / **above** [əbʌv] / **rep·re·sent** [rèprizént]

- 2.2 発音が同じでアクセントだけが異なる場合 各音節を短いダッシュで表わし、アクセントの位置の違いを示した。

例: **im·port** v. [impó:rt] . . . — **n.** [ˈ—] ([—] = [impó:rt])

- 2.3 人・場合によって発音されない音はイタリック体を用いて示した。

例: **at·tempt** [ətémpt] ([= [ətémpt, ətémpt]) / **sta·tion** [stéifən] ([= [stéifən, stéifən])

ただし、[ə] が省略された場合には、次の音が [l], [m], [n] のいずれかであれば、音節主音 (syllabic) になり、音節数は不変である。

- 2.4 強い形 (strong form) もあるが 弱い形 (weak form) を常用するものは、次のように弱形を先に示した。

例: **at** [ət, èt, étt]

- 2.5 米音と英音が異なる場合は次の形式で示した。

例: **aunt** [æ(ː)nt; á:nt] ([= [米 æ(ː)nt; 英 á:nt])
ad·dress [ədrés, *édres] ([= [米 英共通 ədrés, 米には édrés もある])

- 2.6 a 長音と短音の両方があるときは、長音記号を () に入れて示した。

例: **grass** [gráé(ː)s; grá:s] ([= [米 gráés, gráés; . . .])

b 次のような場合は、繰返しを避けてまとめて示した。

例: **dom·ic, -i·cal** [dóumik(ə)] ([= [domic [dóumik], -ical [-ikəl])
equiv·alence, -cy [ikwívaləns(i)] ([= [equivalence [ikwívaləns], -lən·cy [-lənsi])

- 2.7 共通の部分はハイフンを用いて省略した。

例: **am·us·ive** [əmjú:zɪv, -sɪv] ([= [-] は共通の部分 [əmjú:] を表わす])

同一見出し語内における並記見出し語・変換形・異品詞・追込み見出しにおいては、通例その異なる部分のみを表記し、同じ部分は [-] で略記する。

例: **Ae·gos·pot·a·mí** [i:gəspótəmài], **-mos** [-məs] n.
ae·ci·um [i:siəm, -fi-] n. (pl. -cia [-ə])
ar·tic·u·late [ɑ:rtíkjalət] a. . . . — vt., vi. [-lèit] . . .

- 2.8 複合語のアクセントを示すために、その構成要素としての一つの単語全体を長いダッシュで表わす。

例: **A·bomb** [éi—] ([= [éibəm])
ABC weapons [èibi:sí: —] ([= [èibi:sí: wèpənz])

- 2.9 a 外来語の発音は近似の英語音で示した。ただし、フランス語とドイツ語に由来するものについては原音を示した場合もある。その場合、*F* または *G* を付して、それぞれフランス語またはドイツ語の原音であることを示した。

例: **Cour·bet** [*F* kurbe] / **Welt** [*G* vélt]
Ab·é·lard [əbəlà:rd; *F* abelɑ:r] ([= [英語音 əbəlà:rd; フランス語原音 abelɑ:r])
Augs·burg [ɔ:gzbə:rg, áugzbuərg; *G* áuksburk] ([= [英語音 ɔ:gzbə:rg, áugzbuərg; ドイツ語原音 áuksburk])

b フランス語の複数形などの発音が主見出しの発音と同一の場合は [-] で示した。

例: **va·let de cham·bre** [*F* vale də fã:br] n. (pl. **va·lets de cham·bre** [-])

- 2.10 直前の見出し語と発音・つづりおよび分節が同じ場合には 発音・アクセントおよび分節を省略した。なお、大文字と小文字の違いは、ここではつづりの違いとはみなさない。

例: **bear**¹ [béər, bæər] **bear**² / **grace** [gréis] **Grace** / **ca-per**¹ [kéipər]
caper² / **Fitz-ger-ald** [fitsdʒéəld] **FitzGerald**

直前の見出しと分節だけが異なる場合には 分節だけを示し発音表記を省略することがある。

例: **ten-der**¹ [téndər] **tend-er**² **ten-der**³

- 2.11 次にあげる種類の見出し語には、つづりの上にアクセントが示してあるだけで発音表記はないが、構成要素それぞれの発音は独立見出しで与えられているから、その発音を合計し、示されたアクセント型で発音するものとする。

a 二語(以上の)見出し

例: **action stàtion** 《action, station は独立に見出しとしてあり、発音はそれぞれ [ækʃən], [stèiʃən] であるから、これを合計して示されたアクセント型を付与すれば [ækʃən stèiʃən] となる》

ábsentee bállot 《absentee は単独では [æbsəntí:] であるが、全体としては [æbsənti: bælot] と発音することを示す》

独立見出しとしては記載されていない語については、その部分だけ発音を示した。

例: **Brám-ah lóck** [brú:ma-, *brám-]

b 複合語

例: **bláck-bírd** / **fínger-prínt** / **out-dóors**

複合語の構成要素の一部の発音が独立見出しの発音と異なるときはその要素の発音を示した。

例: **bóok-man** [-mən, -mæn] 《=[búkmən, búkmæn]》

複合語の発音の一部を示すときは、その要素に第1アクセントがあれば見出し語の上にこれを示し、これ以外は示さない。

例: **os-cíl-lo-gràph** [asíla-] / **frac-to-cúmulus** [fræktou-]

c 派生語および屈折形の中で、語幹の発音・つづり・分節に影響を及ぼさず、それ自身一定した発音をもっている接辞の付いているものの発音も省略した。また、所有格および複数の s の発音は省略した。

例: **accépt-ance** / **áct-ing** / **kínd-ness** / **státes-man** [-mən] / **Sún-days**

d 音節の増加をもたらさない文字の付加によってでき上がった語は、発音を示さず、全体の分節とアクセントだけを示した。

例: **com-préssed** / **màth-e-mát-ics**

派生または屈折によってサイレントの e が脱落したり、y が i に変わったり、子音字が重なったりした場合には、発音を省略してアクセントのみ示したが、初出の場合にかぎって 語全体の分節を示した。

例: **báb-bler** / **com-pút-er** / **háp-pi-ness** / **per-mít-ter** / **be-gín-ning** / **réd-crèst-ed póchard**

e 派生または屈折によって同じ子音字が重なった場合、原則として発音は単一である。

例: **crúel-ly** 《=[krú:əli:]》 / **hít-ter** 《=[hítər:]》 / **be-gín-ner** 《=[biginər:]》

f 連結形を含む語で、連結形の発音が一定している場合。

例: **hýdro-therapéutics** / **mòno-mánia** / **nèo-clássic**

★ (1) 発音を省略した見出しで、構成要素の切れ目(と同時に分節点)を示す中丸(・)は構成の順序とは必ずしも関係がない。

例: **dis-belíever** 《構成の順序は (dis+believe)+er》
un-kind-ness 《構成の順序は (un+kind)+ness》

(2) 発音を表記しない見出し語に対する発音の variant を示すために [, ...] [; ...] などを用いる。

dí-amìde [, daiéməd] 《=[dáiəməid, daiéməd]》
ám-bu-la-tò-ri-ly [; émbyulətəri:] 《=[émbyulətót:rəli; émbyulətəri:]》

- 2.12 発音表記の省略できる語でも紛らわしいときには註として発音を添えたものがある。

例: **àr-che-týpical** [-típ-] / **léad tíme** [lí:d-], **léad-wòrk** [léd-] / **wéll-réad** [-réd]

III 品

詞

- 3.1 品詞表示の略語については凡例末尾の「略語表」を参照。
- 3.2 一語で2品詞以上にわたる場合、—を用いて同一項内で品詞の分かれ目を示した。先行の品詞に関する記述が長い場合など次に示す品詞が見にくいときは、改行して—を少し左へ飛び出させたところもある。

IV 語 形 変 化

不規則な変化形のつづり・発音は（ ）括弧の中で次のように示した。ただし複合語・派生語については必ずしも示さない。

4.1 名詞の複数形

例: **goose** [gú:s] *n.* (*pl.* geese [gí:s]) **deer** [díər] *n.* (*pl.* ~, ~s)
pi·ano [piænou, . . .] *n.* (*pl.* -án-os) **mos·qui·to** [. . .] *n.* (*pl.* ~(e)s)

4.2 a 不規則動詞の 過去形; 過去分詞; -ing 形

例: **run** [rán] *v.* (*ran* [ráé(:)n]; **run**; **rún·ning**) **cut** [kát] *v.* (~; **cút·ting**)
sing [sín] *v.* (*sang* [sáén], 《まれ》 *sung* [sán]; *sung*)

b 語幹の子音字を重ねる場合は次のように示した。

例: **flip** [flíp] *vt., vi.* (-pp-) 《-pp-=**flipped**; **flíp·ping**》
pat¹ [pét] *v.* (-tt-) 《-tt-=**pát·ted**; **pát·ting**》
trav·el [tráevəl] *v.* (-l- | -ll-) 《-l- | -ll-=《米》 **tráv·eled**; **tráv·el·ing** |
《英》 **tráv·elled**; **tráv·el·ling**》
pic·nic [píkník] *vi.* (-nick-) 《-nick-=**píc·nicked**; **píc·nick·ing**》

4.3 形容詞・副詞の 比較級; 最上級

単音節語には -er; -est を付け、二音節以上の語には more; most を付けるのを通則とするので、通則に従う変化は示さない。これに反するもの、または つづり字・発音の注意すべきものは次のように示した。

例: **good** [gúd] *a.* (**bet·ter** [bétər]; **best** [bést])
big¹ [bíg] *a.* (**big·ger**; **big·gest**)
long¹ [lós(:)ŋ, lán] *a.* (~**·er** [-ŋg-]; ~**·est** [-ŋg-])

V 語 義 と 語 法

- 5.1 多義語・重要語については、通例 ボールド体のアラビア数字 **1 2 3** を用いて語義の分類を示した。さらに上位区分として **A B** を用い、下位区分として **a b c** を用いた (⇒本文 **which**)。
- 5.2 訳語の前に [] 括弧を用いて文法・語法上の指示・説明を添えた。
- 例: [C-] [s~] 《大文字または小文字で始まることを示す》 / [the ~] [a ~] 《冠詞 the, a が付く》 / [ʉpl.] 《普通は複数形で用いる》, [~s] 《語幹に s が付く》 / [~sg.] [~pl.] [~sg./pl.] 《構文上の単数・複数》 / [pass.] [p.p.] [pred.]
- 5.3 小型頭文字 (SMALL CAPITALS) は参照すべき見出し語を示す。紙面の節約のため、語義(の一部)・説明語(句)・相互参照など随処に用いたので十分活用されたい。ただし、用例で用いたものは見出し語の存在を示すインデックスに過ぎない。
- 5.4 a 用法指示ラベルには《 》を用いた (⇒凡例末尾「略語表」)。《古》《まれ》, 《スコ》《豪》《方》, 《詩》《口》《俗》などの用法指示は絶対的なものではなく、いずれもおおよその傾向を示すにとどまり、またその傾向の程度もまちまちで 決して一様ではない。《米》《英》の表記はそれぞれ *¹ の記号で示した。*¹ の指示は「主として米」「主として英」などの意を含むことが少なくない。

- b** 学術用語などの分野指示には『 』を用いた。『医』『昆』『哲』などの指示は、必ずしも専門用語であることを示すものではない。たとえば『植』によって植物学の学術用語であることを示すこともあれば、単に語義が植物であることを示すだけのこともある。
- c** 制度・団体などの国籍を示すのに『 』を用いた。『米』『英』は『米国の』『英国の』の意である。『アイル』は『アイルランドの』の意であり、『アイル』がこぼれとして Irish であることを示すものと異なる。

5.5 訳語ではなく 〉 括弧を用いて、動詞の主語・目的語や形容詞と名詞の連結などを示した。

例: **date** . . . — vt. **1 a** 〈手紙・文書〉に日付を入れる; 〈事件・美術品などの〉時日 [年代]を定める; . . . **2** 『口』〈異性〉と会う約束をする 〈up〉, ...とデートする。
easy a. . . . **2 a** 安楽な, 気楽な, 楽な (at ease); 〈気分・態度などの〉くつろいだ (frank); . . . ; 〈衣服などがきつくない, ゆるい **3** 〈傾斜が〉なだらかな; 〈談話・文体などの〉すらすらした; 〈速度などが〉ゆるやかな **4 a** 〈規則・条件などが〉きびしくない, ゆるやかな, **b** 『商』〈商品が〉供給豊富な, 〈市場の取引が〉緩慢な . . .

5.6 見出し語と連結する前置詞・副詞・接続詞を訳語のあとに 〈in, at〉〈on〉〈that〉のように示した。

例: **acquaint** . . . vt. 〈人〉に知らせる, 熟知させる, 告げる 〈with a fact, that, how〉; . . .
capable a. . . ; 〈...に必要な〉実力[資格]のある 〈for〉; . . . 〈...に〉耐える, 〈...を〉入れる 〈of〉; . . .
familiarity n. **1** よく知っていること, 精通, 熟知 〈with〉.
mine² [. . .] vt. . . ; 〈資源などを〉枯渇させる 〈out〉.

5.7 同意語 (synonym) は訳語のあとに () 括弧で, 反意語 (antonym) は (opp. . .) の形で, 説明語句は訳語の前または後ろに『 』を用いて示した。

5.8 語義・訳語に用いた () 括弧は () 内を省略しうること示し, [] 括弧は先行の語(句)と置き換えうることを示す。

例: **gránd-dúcal** a. 大公(妃)の; 帝政ロシアの皇子[皇女]の。《大公の, 大公妃の; 帝政ロシアの皇子の, 帝政ロシアの皇女の の意》

5.9 随処に★を用いて, (1) 発音・つづり字・語法・文法・慣用その他についての補足的な注意・説明・参考事項などを示し, (2) 類語を一か所に列記して各語間の関連を明確にした (⇒ 本文 ARMY, BEAUFORT SCALE, METER¹, TYPE, etc.).

VI 用例と成句

6.1 限られた紙面になるべく多くの語義を収載する方針を採ったために, 全体に用例を相当割愛した。() 括弧, [] 括弧の用法は, 見出し語 (⇒ 1.5) および語義・訳語 (⇒ 5.8) の場合と同じ。

a 用例は語義のあとをコロンの (:) で区切って示し, 用例と用例の切れ目は斜線 (/) で示した。

b 用例中, 3字以上の見出し語相当のつづりにはスワングダッシュ (～) を用いた。見出し語の変化形, および注意すべき冠詞・前置詞・副詞・接続詞などをイタリック体で示し, その他はローマン体で示した。小文字 c で始まる見出し語の項で C- とあれば大文字で始まることを示し, 逆に大文字 S で始まる見出し語中で s- とあれば小文字で始まることを示す。また両方 S の大文字で始まる二語見出しの中で s- s- とあれば2語とも小文字で始まることを示す。これは逆の場合にも用いた。

c 用例は必ずしも全訳せず紙面の節約のために必要箇所のみを訳出し, また意味が自明であるときは全く訳を示さないこともある。

6.2 **a** 成句はボード体で, 成句中の見出し語部分の品詞に従って, その品詞の記述の最後に一括して示した。ただし, 品詞分類の煩わしい語については, 品詞の別を無視して幾つかの品詞の成句をまとめて示したものもある。

b 成句の並べ方はアルファベット順を原則としたが, 類縁の成句などは一か所にまとめたものもあるので注意されたい (例: ⇒ 6.2c)。

c 成句の意味分類はおおむねセミコロン (;) で区切るにとどめたが, これで煩雑になる場合, および相互参照に便利になる場合には (1) (2) (3) と分類した。また, 時として成句の品詞を示したものもある。

- 例: **make**¹ v. . . . ~ **or break** [mar]...を成功させるかだめにするかする, ...の運命を左右する. ~ **out** (1) [通例 can, could を伴って] 《なんとか》理解する. . . . (2) 起草する, . . . ; 詳細に描く. (3) 信じさせる, 証明する, . . . ; 《口》見せかける, ふりをする 《that》: . . . (4) 《口》(うまく)やっていく, 成功する 《with》: 《人と》(うまく)やっていく 《with》; やりくりする: . . . (5) 《金を》こしらえる; まとめ上げる. (6)*《俗》(女を)うまくモノにする, . . .
- draw** v. . . . ~ **on** (vt.) (1) 引き上げる; <手袋・靴下などを>はめる, 履く. . . . (2) <人を>誘い込む, <...するように>励ます <to do> . . . (3) <手形を>...あてに振り出す. (vi.) (4) (源を)...にたよる, ...を利用する; ...に要求する: . . . (5) 近づく, 迫る (approach); <船が>他船に近づく.

d 成句に添える用例の示し方は一般の語義に添える用例の扱いと同じである (⇒ 6.1).

- 6.3 a** 用例および成句中に用いた **one, one's, oneself** は, その位置に文の主語と同一の人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す.

例: **mas-ter**¹ n. . . . **make oneself ~ of**...に熟達する, ...を自由に使いこなす.
《たとえば *He made himself ~ of*... となる》

b 用例および成句中に用いた **sb** または **sth** は, その位置に文の主語と異なる人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す.

例: **bag**¹ n. . . . **give** [leave] **sb the ~ to hold** 人を窮境に見捨てる.
《たとえば *Jack gave her the ~ to hold*. となる》

VII 語 源

各語の記述の最後に [] に囲んで示す.

- 7.1** 記述は, 現在の語義・語形の理解に役立つことを主眼とし, 必要に応じてセミコロン (;) のあとに説明を加えた. 語義上特筆すべきことがない場合, 言語名の表示にとどめる.

- 7.2** [<] は **derivation** を示す. 語源欄最初の (言) 語は直接のもとを示すが, 最後は最終語源とは限らない. 借入経路を省略した場合はコンマを入れて [. . . , < . . .] で示す.

例: **turban** [MF, < Turk. < Pers.; cf. **TULIP**]

- 7.3** **SMALL CAPITALS** は, 関連語の語源欄・成句参照を意味する. 直前・直後の語の参照は [↑] [↓] で示す.

例: **antsy** [cf. have **ANTS** in one's pants]

- 7.4** [?] は語源が不確実または不明の語に付し, 必要に応じて初出世紀・関連語などを示す. また, 借入源を特定言語に確定できない場合, 地域名を () 内に示す.

例: **smile** [ME < ? Scand. (Norw. *smila*, Dan. *smile*); **SMIRK** と同語源]
banana [Sp. or Port. < (Guinea)]

VIII 諸 記 号 の 用 法

- 8.1** 諸種の括弧

a () 括弧

- (1) 括弧内が省略されうことを示す (⇒ 1.5, 2.6, 5.8, 6.1).
- (2) 見出し語の語形変化を示す (⇒ IV).
- (3) 同意語・反意語・参照語(句)を示す (⇒ 5.7).
- (4) 人の生没年・歴史年代や, 漢字のふりがな・仮名の送り漢字などを示す.

b [] 括弧

- (1) 発音を示す (⇒ II).
- (2) 語(句)の入れ換えを示す (⇒ 1.5, 5.8, 6.1).
- (3) 語法などの指示を示す (⇒ 5.2).
- (4) 略語中において言語名や外国語のつづりを示す.
[] 括弧 全記述の末尾において語源を示す. 語義・句義の末尾において意味の由来を示す.
語源については VII 参照.

c 《 》括弧

- (1) 語義・訳文などの前後に置いて限定的・補足的説明を示す (⇒ 5.7).
 (2) 関連語, 特に 関連形容詞を示す.

d くゝ (ギュメ) の用法については 5.5, 5.6 を参照.

e 『 』 (二重亀甲(ㄣㄣ)) の用法については 5.4 を参照.

8.2 a ハイフンは次のように使い分けた.

(1) 見出し語 《-, -》

複合語

接頭辞・接尾辞・連結形

一部省略

改行のつづり字の切れ目

dóuble-lóck *vt.***ad- / -ics / Russo- -phobia****be-a-tif-ic, -i-cal** [bi(:)ətifik(əl)] *a.* 至福を与える力の
ある; 幸福に輝いた, 喜びに満ちた. **-i-cal-ly** *adv.***Ca-mel-o-par-da-lis** [kəmɛləpá:rdəɫəs], **Ca-mel-o-**
par-dus [kəmɛləpá:rdəs] *n.* 《天》きりん座.

(2) 発音 《-》

一部省略・改行の切れ目

de-mur-ral [dimé:ɾəl, -már-; -már-] *n.* 異議申し立て.
..... **dés-ig-nà-tive** *a.* **dés-ig-**
nà-tor *n.* 指名[指定]者. **dés-ig-na-tò-ry** [; dèzig-
néitəri] *a.*

(3) 本文 《-, -》

つづり本来のハイフン

改行のつづり字の切れ目

mólly-còddle *n.* めめしい男, 弱虫, 腰抜け; GOODY-
GOODY. — *vt.* 竹やかす. **-còddler** *n.***bi-mes-tri-al** [baiméstriəl] *a.* 2 か月ごとの, 隔月の (*bi-*
monthly); 2 か月連続の.

b SMALL CAPITALS 参照すべき見出し語を示す (⇒ 5.3).

c U uncountable (不可算名詞)

C countable (可算名詞)

U,C U にも C にも用いることを示す.

d (1) ^u, ^o, ^s はそれぞれ *usually* (通例), *often* (しばしば), *sometimes* (時に) を記号化したものである.[^upɪ.]《通例 複数で用いる》[^oP~]《しばしば P で始まる》[^u~s, <sg.>]《通例 -s 付きの形で構文上は単数扱い》

なお, 発音表記に用いるときも同じ.

(2) *, " はそれぞれ《米》, 《英》の意.

(3) + (プラス) 派生語などの語義記述の前において, 「記述するまでもない派生的な意味に加えて」の意.

e その他

~ ~ (スワングダッシュ) 見出し語と同一のつづりを表わす (⇒ 1.6, 6.1b).

⇒ 参照すべき項目を示す.

★ 注意事項・一括列記 (⇒ 5.9)

☆ 地名説明中, 都市名の前に付けて首都・州都・中心都市を示す.

... 語義・用例・訳文中において, ...の所にいろいろな語が該当することを示す.
「instead of...の代わりに」のように英語・日本語の共通部分にはこれを繰り返さない.

L 上の行から下の行へ記述が続くことを示す.

例: **erýthro-phóbia** 《精神医》*n.* 赤色恐怖(症); 赤面恐怖**erýthro-phòre** *n.* 《生化》赤色素胞. L(症).

「 下の行から上の行へ記述が続くことを示す.

° 略語・記号の見出しの 2 語以上から成る full form の前に付けて, その語が見出しにあることを示す.

例: **BA** 《野》°batting average. 《batting average の見出しがある》.

略 語 表

〔医〕	医学, 病理学	〔昆〕	昆虫	〔天〕	天文学
〔遺〕	遺伝学	〔財〕	財政(学)	〔統〕	統計学
〔印〕	印刷	〔史〕	歴史, 歴史学	〔動〕	動物, 動物学
〔韻〕	韻律学	〔齒〕	齒科(学)	〔図書〕	図書館, 図書館学
〔宇〕	宇宙	〔紙〕	製紙	〔農〕	農業
〔映〕	映画	〔写〕	写真	〔バスケ〕	バスケットボール
〔泳〕	水泳	〔社〕	社会学	〔バド〕	バドミントン
〔園〕	園芸	〔狩〕	狩猟	〔美〕	美術
〔音〕	音声学	〔宗〕	宗教	〔フェン〕	フェンシング
〔化〕	化学	〔修〕	修辞学	〔服〕	服飾
〔海〕	海語, 航海	〔商〕	商業	〔フット〕	フットボール
〔解〕	解剖	〔品〕	結晶	〔プロ〕	プロテスタント
〔画〕	絵画	〔城〕	築城	〔保〕	保険
〔楽〕	音楽	〔植〕	植物, 植物学	〔ボウリ〕	ボウリング
〔カト〕	カトリック	〔心〕	心理学	〔ボク〕	ボクシング
〔気〕	気象学	〔人〕	人類学	〔法〕	法学, 法律(学)
〔機〕	機械	〔新約〕	新約聖書	〔砲〕	砲術
〔旧約〕	旧約聖書	〔数〕	数学	〔紡〕	紡績
〔キ教〕	キリスト教	〔スポ〕	スポーツ	〔簿〕	簿記
〔ギリ神〕	ギリシア神話	〔生〕	生物, 生物学	〔紋〕	紋章, 紋章学
〔ギリ正教〕	ギリシア正教	〔政〕	政治, 政治学	〔野〕	野球
〔魚〕	魚類	〔聖〕	聖書	〔冶〕	冶金
〔空〕	航空	〔生化〕	生化学	〔薬〕	薬学
〔軍〕	軍事	〔生保〕	生命保険	〔郵〕	郵便, 郵趣
〔経〕	経済, 経済学	〔染〕	染色, 染料	〔窯〕	窯業
〔劇〕	演劇	〔測〕	測量	〔理〕	理学, 物理学
〔建〕	建築, 建築学	〔畜〕	畜産	〔力〕	力学
〔言〕	言語学	〔地物〕	地球物理	〔林〕	林業
〔工〕	工学	〔彫〕	彫刻	〔倫〕	倫理学
〔光〕	光学	〔鳥〕	鳥類, 鳥類学	〔レス〕	レスリング
〔鉱〕	鉱物(学), 採鉱, 鉱山	〔哲〕	哲学	〔労〕	労働
〔古史〕	古代史	〔電〕	電気	〔ロ神〕	ローマ神話
〔古生〕	古生物	〔電算〕	電算機	〔論〕	論理学
〔詩〕	poetical	〔韻俗〕	rhyming slang	《アイル》	Irish
〔古〕	archaic	〔卑〕	vulgar, taboo	《ウェールズ》	Welsh
〔廢〕	obsolete	〔まれ〕	rare	《豪》	Australian
〔口〕	colloquial, informal	〔幼児〕	nursery	《ニュ》	New Zealand
〔文〕	literary	〔方〕	dialectal	《インド》	Anglo-Indian
〔俗〕	slang	〔米〕,*	Americanism	《カナダ》	Canadian
〔学俗〕	school slang	〔英〕, ¹⁾	Britishism	《南ア》	South Africa
〔海俗〕	sailors' slang	〔スコ〕	Scottish	《カリブ》	Carib
a.	adjective	impv.	imperative	pred.	predicative
adv.	adverb	int.	interjection	pref.	prefix
attrib.	attributive	inter.	interrogative	prep.	preposition
comb. form	combining form	iron.	ironical	pres.p.	present participle
compd.	compound	joc.	jocular	pron.	pronoun
conj.	conjunction	masc.	masculine	reflx.	reflexive
derog.	derogatory	n.	noun	sb	somebody
dial.	dialect	neg.	negative	sg.	singular
dim.	diminutive	obj.	objective	sth	something
euph.	euphemism	p.	past	suf.	suffix
fem.	feminine	pass.	passive	v. auxil.	auxiliary verb
fig.	figurative	pl.	plural	vi.	intransitive verb
freq.	frequentative	poss.	possessive	voc.	vocative
imit.	imitative	p.p.	past participle	vt.	transitive verb

言語名の略形

AF	Anglo-French	Gael.	Gaelic	Norw.	Norwegian
(Afr.)	Africa	Gk.	Greek	O...	Old
Afrik.	Afrikaans	Gmc.	Germanic	ODu.	Old Dutch
Akkad.	Akkadian	Goth.	Gothic	OE	Old English
Alb.	Albanian	Haw.	Hawaiian	OF	Old French
Amh.	Amharic	Heb.	Hebrew	OHG	Old High German
Am.Ind.	American Indian	Hind.	Hindustani	ON	Old Norse
Am.Sp.	American Spanish	Hung.	Hungarian	OS	Old Saxon
Arab.	Arabic	Icel.	Icelandic	Pers.	Persian
Aram.	Aramaic	IE	Indo-European	Pol.	Polish
Assyr.	Assyrian	Ir.	Irish	Port.	Portuguese
(Austral.)	Australia	It.	Italian	Prov.	Provençal
Bulg.	Bulgarian	Jap.	Japanese	Rom.	Romanic
Can.F	Canadian French	Jav.	Javanese	Rum.	Rumanian
Cat.	Catalan	L	Latin	Russ.	Russian
Celt.	Celtic	Latv.	Latvian	Se.	Scottish
Chin.	Chinese	LG	Low German	Scand.	Scandinavian
Copt.	Coptic	Lith.	Lithuanian	Sem.	Semitic
Corn.	Cornish	M...	Middle/Medieval	Serb.	Serbian
Dan.	Danish	MDu.	Middle Dutch	Serbo-Croat	Serbo-Croatian
Du.	Dutch	ME	Middle English	Skt.	Sanskrit
E	English	MHG	Middle High	Slav.	Slavonic
Egypt.	Egyptian		German	Sp.	Spanish
F	French	MLG	Middle Low	Swed.	Swedish
Finn.	Finnish		German	Syr.	Syriac
Flem.	Flemish	Mod.Gk.	Modern Greek	Turk.	Turkish
Frank.	Frankish	Mod.Heb.	Modern Hebrew	W.Ind.	West Indies
Fris.	Frisian	NL	Neo-Latin	Yid.	Yiddish
G	German				

Shakespeare 作品名の略形

<i>All's W</i>	<i>All's Well That Ends Well</i>	<i>Kinsmen</i>	<i>The Two Noble Kinsmen</i>	<i>Othello</i>	<i>Othello</i>
<i>Antony</i>	<i>Antony and Cleopatra</i>	<i>Lear</i>	<i>King Lear</i>	<i>Pericles</i>	<i>Pericles</i>
<i>As Y L</i>	<i>As You Like It</i>	<i>Love's L L</i>	<i>Love's Labour's Lost</i>	<i>Rich II</i>	<i>Richard II</i>
<i>Caesar</i>	<i>Julius Caesar</i>			<i>Rich III</i>	<i>Richard III</i>
<i>Corio</i>	<i>Coriolanus</i>	<i>Lucrece</i>	<i>The Rape of Lucrece</i>	<i>Romeo</i>	<i>Romeo and Juliet</i>
<i>Cymb</i>	<i>Cymbeline</i>	<i>Macbeth</i>	<i>Macbeth</i>	<i>Shrew</i>	<i>The Taming of the Shrew</i>
<i>Errors</i>	<i>The Comedy of Errors</i>	<i>Measure</i>	<i>Measure for Measure</i>	<i>Sonnets</i>	<i>Sonnets</i>
<i>Hamlet</i>	<i>Hamlet</i>	<i>Merch V</i>	<i>The Merchant of Venice</i>	<i>Tempest</i>	<i>The Tempest</i>
<i>1 Hen IV</i>	<i>1 Henry IV</i>			<i>Timon</i>	<i>Timon of Athens</i>
<i>2 Hen IV</i>	<i>2 Henry IV</i>	<i>Merry W</i>	<i>The Merry Wives of Windsor</i>	<i>Titus</i>	<i>Titus Andronicus</i>
<i>Hen V</i>	<i>Henry V</i>			<i>Troilus</i>	<i>Troilus and Cressida</i>
<i>1 Hen VI</i>	<i>1 Henry VI</i>	<i>Mids N D</i>	<i>A Midsummer Night's Dream</i>	<i>Twel N</i>	<i>Twelfth Night</i>
<i>2 Hen VI</i>	<i>2 Henry VI</i>			<i>Two Gent</i>	<i>The Two Gentlemen of Verona</i>
<i>3 Hen VI</i>	<i>3 Henry VI</i>	<i>Much Ado</i>	<i>Much Ado about Nothing</i>	<i>Venus</i>	<i>Venus and Adonis</i>
<i>Hen VIII</i>	<i>Henry VIII</i>			<i>Winter's</i>	<i>The Winter's Tale</i>
<i>John</i>	<i>King John</i>				

英訳聖書(A.V.)書名の略形

Acts	<i>The Acts of the Apostles</i>	Mic.	<i>Micah</i>
Amos	<i>Amos</i>	Nah.	<i>Nahum</i>
1 Chron.	<i>The First Book of the Chronicles</i>	Neh.	<i>The Book of Nehemiah</i>
2 Chron.	<i>The Second Book of the Chronicles</i>	Num.	<i>The Fourth Book of Moses, called Numbers</i>
Col.	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Colossians</i>	Obad.	<i>Obadiah</i>
1 Cor.	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>	1 Pet.	<i>The First Epistle General of Peter</i>
2 Cor.	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>	2 Pet.	<i>The Second Epistle General of Peter</i>
Dan.	<i>The Book of Daniel</i>	Philem.	<i>The Epistle of Paul to Philemon</i>
Deut.	<i>The Fifth Book of Moses, called Deuteronomy</i>	Philip.	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Philippians</i>
Eccles.	<i>Ecclesiastes, or the Preacher</i>	Prov.	<i>The Proverbs</i>
Ephes.	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Ephesians</i>	Ps.	<i>The Book of Psalms</i>
Esth.	<i>The Book of Esther</i>	Rev.	<i>The Revelation of St. John the Divine</i>
Exod.	<i>The Second Book of Moses, called Exodus</i>	Rom.	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Romans</i>
Ezek.	<i>The Book of the Prophet Ezekiel</i>	Ruth	<i>The Book of Ruth</i>
Ezra	<i>Ezra</i>	1 Sam.	<i>The First Book of Samuel</i>
Gal.	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Galatians</i>	2 Sam.	<i>The Second Book of Samuel</i>
Gen.	<i>The First Book of Moses, called Genesis</i>	Song of Sol.	<i>The Song of Solomon</i>
Hab.	<i>Habakkuk</i>	1 Thess.	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
Hag.	<i>Haggai</i>	2 Thess.	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
Heb.	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Hebrews</i>	1 Tim.	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
Hos.	<i>Hosea</i>	2 Tim.	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
Isa.	<i>The Book of the Prophet Isaiah</i>	Titus	<i>The Epistle of Paul to Titus</i>
James	<i>The General Epistle of James</i>	Zech.	<i>Zechariah</i>
Jer.	<i>The Book of the Prophet Jeremiah</i>	Zeph.	<i>Zephaniah</i>
Job	<i>The Book of Job</i>	外典(Apocrypha)	
Joel	<i>Joel</i>	Baruch	<i>Baruch</i>
John	<i>The Gospel according to St. John</i>	Bel and Dragon	<i>The History of the Destruction of Bel and the Dragon</i>
1 John	<i>The First Epistle General of John</i>	Eccius.	<i>The Wisdom of Jesus the Son of Sirach, or Ecclesiasticus</i>
2 John	<i>The Second Epistle of John</i>	1 Esd.	<i>I. Esdras</i>
3 John	<i>The Third Epistle of John</i>	2 Esd.	<i>II. Esdras</i>
Jonah	<i>Jonah</i>	Judith	<i>Judith</i>
Josh.	<i>The Book of Joshua</i>	1 Macc.	<i>The First Book of the Maccabees</i>
Jude	<i>The General Epistle of Jude</i>	2 Macc.	<i>The Second Book of the Maccabees</i>
Judges	<i>The Book of Judges</i>	Pr. of Man.	<i>The Prayer of Manasses</i>
1 Kings	<i>The First Book of the Kings</i>	Rest of Esther	<i>The Rest of the Chapters of the Book of Esther</i>
2 Kings	<i>The Second Book of the Kings</i>	Song of Three Children	<i>The Song of the Three Holy Children</i>
Lam.	<i>The Lamentations of Jeremiah</i>	Susanna	<i>The History of Susanna</i>
Lev.	<i>The Third Book of Moses, called Leviticus</i>	Tobit	<i>Tobit</i>
Luke	<i>The Gospel according to St. Luke</i>	Wisd. of Sol.	<i>The Wisdom of Solomon</i>
Mal.	<i>Malachi</i>		
Mark	<i>The Gospel according to St. Mark</i>		
Matt.	<i>The Gospel according to St. Matthew</i>		

発音記号表

【記号】	例 語	【記号】	例 語	【記号】	例 語
[ai]	ice, mine, sky	[ə:r, ʌ; ʌ]	courage, hurry,	[p]	pay, upper, cup
[au]	out, bound, cow		nourish	[r]	rain, sorry
[a; ɔ]	ox, cotton	[f]	fox, offer, if	[s]	cent, fussy, kiss
[ɑ:]	alms, father, ah	[g]	gum, beggar, big	[ʃ]	ship, station, fish
[ɑ:r]	art, card, star	[h]	house, behind	[t]	top, better, tent
[æ]	attic, hat	[i]	ink, sit, city	[tʃ]	chair, pitcher,
[æ(:); ɑ:]	ask, branch	[i:]	eat, seat, see		match
[b]	bed, rubber, cab	[iə]	ear, beard, hear	[θ]	think, pithy, both
[d]	desk, rudder, good	[j]	yes	[u]	good
[dʒ]	gem, adjective, judge	[k]	call, lucky, desk	[u:]	ooze, food, too
[ð]	this, other, bathe	[l]	leg, melon, call	[uə]	poor, tour
[e]	end, bell	[m]	man, summer, aim	[v]	vine, cover, love
[ei]	aim, name, may	[n]	note, dinner, moon	[ʌ]	up, blood
[eə, æə]	air, care, heir, prayer,	[ŋ]	ink, sing	[w]	way
	there	[ou; əu]	open, most, show	[z]	zoo, busy, lose
[ə]	ability, silent, lemon,	[ɔ(:), ɑ]	dog, orange, soft	[ʒ]	measure, rouge
	upon, banana	[ɔ:]	all, fall, saw		
[ər]	butter, actor	[ɔ:r]	order, cord, more	[ˊ]	第一アクセント
[ə:r]	earn, bird, stir	[ɔi]	oil, coin, boy	[ˋ]	第二アクセント

★ (1) 【斜体記号】

- (a) 略しうる音—例: [stéifən]=[stéifən, stéifn] / [hwen]=[hwen, wen].
- (b) ([ə] の場合) 次の子音が音節主音であることを示す—例: [kántənənt]=[kántnənt].
- (2) [æ(:); ɑ:] などのセミコロン (;) の左は米音, 右は英音を示す—例: ask [æ(:)sk; ɑ:sk] は米音 [æ(:)sk], 英音 [ɑ:sk] の意.
- (3) [(:)] は一般に長母音と短母音の両方の発音があることを示すが, [ɔ(:)] は米音 [ɔ:], 英音 [ɔ] の意.
- (4) [ɑ:r] [eə, æə] [ɔ:r] [ər] [iə] [ɔ:r], [uə] の [r] は, 英音では切れ目なしに母音が続く場合にのみ発音される [r] を表わす. すなわち子音の前と語末であとに母音がすぐ続かないときは発音されない. 米音では先行する [ə] に影響を与えてそれとともに [ə] と表わされる 「r 音色のついた母音 (r-colored vowel)」になる. また米音では, [ɑ:r] は [aə], [ɔ:r] は [ɔə] と発音される. [eə] の [e] は他の位置の [e] よりも口の開きが大きく, 精密表記では [ɛ] で表わされる.
- (5) ('...[ˋ]...) ...は '(米音【英音】としては) ...の発音もある' の意 (⇒ 凡例 2.5).
- (6) 「発音記号のない本見出し語の発音」については 凡例 2.10, 2.11 参照.

非英語音およびその他の記号

[y]	Bürger, Lunéville (唇をまるめて [i] を発音する)	[x]	Bach, loch (後舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)
[ø]	feu ² , Neuchâtel (唇をまるめて [e] を発音する)	[ɥ]	ennui, nuit blanche ([y] に対応する半母音)
[œ]	jeunesse, œuf (唇をまるめて [ɛ] を発音する)	[ɲ]	Bourgogne, Montaigne (口蓋化した [n])
[â]	pensée, sans (鼻音化した [a])	[ɰ]	ugh (唇をまるめない [u]; 日本語の「ウ」)
[ɛ̃]	Maintenon, vin rosé (鼻音化した [ɛ])	[ɸ]	phew (両唇をせばめて出す無声摩擦音; 日本語の「フ」の子音)
[ɔ̃]	bonsoir, garçon (鼻音化した [ɔ])	[,]	hem [ɱm] (無声化の記号)
[ɑ̃]	chacun à son goût (鼻音化した [ɑ])		
[ç]	Brecht, nicht wahr (中舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)		

發音省略語尾一覽

(詳しくは本文の各項を見よ)

A -abil-i·ty [əbɪləti] -able [əbəl] -ably [əbli] -adel-phous [ədɛlfəs] -age [ɪdʒ] -al [əl] -an [ən] -ance [əns, əns], -an-cy [ənsi, ənsi] -an-drous [ændrəs] -ant [ənt, ənt] -arch [ɑːrk] -ar-chy [ɑːrki] -ard [ɑːrd] -ary [ˈɑː - ɛəri, ˈɑː ɛri; ˈɑː(-)əri] -as-ter [æstər, æs-] -ate [æt, èit] -a-tion [éifən]

B -bi-ont [baíant] -bi-o-sis [baióusəs, bi-] (pl. -ses [-si:z]) -blast [blæ(:)st; blà:st] -blas-tic [blæstik]

C -carp [kà:rp] -car-pic [ká:rpik] -car-pous [ká:rpəs] -car-py [kà:рпи] -cene [si:n] -cen-tric [séntrik] -ce-phal-ic [səfəlik; ke-] -ceph-a-lous [séfaləs] -ceph-a-ly [séfəli] -cer-cal [sá:rkəl] -chore [kò:r] -chrome [kròm] -ci-dal [sáidl] -cide [sàid] -cli-nal [kláinl] -cline [klàin] -cli-nous [kláinəs] -coc-cus [kákəs] -coele-, -coel [si:l] -cot-yl [kátl] -crat [kræt] -crat-ic [krætík] -cy [si] -cyst [sist] -cyte [sàit]

D -dac-ty-lous [dæktələs] -dac-ty-ly [dæktəli] -den-dron [déndrən] -derm [dà:rm] -der-ma [dà:rmə] -der-mic [dà:rmik] -der-mis [dà:rməs] -dom [dəm] -drome [dròm]

E -ean [iæn] -ec-to-my [éktəmi] -ed [əd, d, t] -ee [i:] -eer [iər] -en [ən] -ence [əns] -en-cy [ənsi] -ent [ənt] -er [ər] -ern [ərn] -ery [əri] -es, -s [əz, iz; z; s] -ese [i:z, i:s] -ess [əs, is, ès] -est [əst, ist] -eth [əθ, iθ]

F -fa-cient [féifənt] -fac-tion [fækʃən] -fac-tive [fæktiv] -fest [fèst] -flo-rous [fló:rəs] -fold [fòuld] -form [fò:rm] -fuge [ˈ - fju:ʒ] -ful [ful, fəl, fl] -ful-ly [fəli]

G -gam-ic [gámik] -ge-net-ic [ʒənétik] -gen-ic [ʒénik, ʒi:nik] -glot [glàt] -gon [ˈ - gàn, gən; gən] -grade [grèid] -gram [grà(:)m] -graph [grà(:)f; grà:f] -graph-ic, -i-cal [gráfik(əl)]

H -he-dral [hí:drəl, 'héd-] -he-dron [hí:drən, 'héd-] (pl. ~s, -dra [-drə]) -hip-pus [hípəs] -hood [ˈ - hud, ˈ - hùd]

I -ian [iæn] -ibil-i·ty [əbɪləti] -ible [əbəl] -ibly [əbli] -ic [ˈ - ik] -i-cal [ˈ - ikəl] -ing [ɪŋ] -ish [ɪʃ] -ism [ˈ - izəm, ˈ - izəm] -ist [əst, ist] -ite [àit] -ive [ˈ - iv] -iza-tion [əzéifən; ai-] -ize [àiz]

L -less [ləs] -let [lèt] -like [làik] -li-ness [línəs] -ling [lɪŋ] -lite [làit] -lith [liθ] -lith-ic [liθik] -ly [li, i] -lyte [làit]

M -ma-nia [méiniə] -ment [mənt] -mer [mər] -mere [mìər] -m-er-ism [mərɪzəm] -met-ric, -met-ri-cal [métrik(əl)] -m-e-try [ˈ - mètri] -mo-bile [moubi:l, mə-] -morph [ˈ - mò:rf] -mor-phic [mò:rfik] -mor-phism [mò:rfizəm] -mor-pho-sis [mò:rfəsəs] (pl. -ses [-si:z]) -mor-phous [mò:rfəs] -mor-phy [mò:rfi] -most [mòust, 'mæst] -my-cete [maisi:t, ˈ -] -my-cin [maísən]

N -ness [nəs]

O -o-dont [ədànt] -oid [ðid] -or [ər] -os-to-sis [astóusəs] (pl. -ses [-si:z], ~-es) -ous [əs]

P -path [pà(:)θ] -path-ic [páθik] -ped [pèd] -pede [pi:d] -phage [fèiç, fù:ʒ] -pha-gia [fèiçia] -phane [fèin] -phil [fil] -phile [fàil] -phil-ia [fília] -phil-ic [fílik] -phobe [fòub] -pho-bia [fòubia] -pho-bic [fòubik] -phone [fòun] -phore [fò:r] -pho-re-sis [fərí:səs] (pl. -ses [-si:z]) -phyll [fil] -phyl-lous [fílas] -phyte [fàit] -phyt-ic [fítik] -pla-sia [pléizia; pléziə] -pla-sy [plèisi, pləsi] -plasm [plæzzəm] -plast [plá(:)st] -plas-tic [plæstik] -plas-ty [plæsti] -ple-gia [plí:çia] -ple-gy [plí:çy] -ploid [plòid] -pod [pàd] -poi-e-sis [poié:səs] (pl. -ses [-si:z]) -poi-et-ic [poiétik]

R -ress [rəs] -ry [ri]

S -s [s, z] -saur [sà:r] -sau-rus [sá:rəs] -scape [skèip] -scope [skòup] -sep-al-ous [sépaləs] -ship [ˈ - fip, ˈ - fip] -some^{1,2} [səm] -some³ [sòm] -so-mic [sóumik] -spore [spò:r] -spor-ous [ˈ - spò:rəs, ˈ - spərəs] -sta-sis [stéisəs, stés-, ˈ - stəsəs] (pl. -ses [stéisi:z, stés-, stəsi:z]) -stat [stæt] -stat-ic [stætík] -ster [stər] -stome [stòum] -style [stàil]

T -tax-is [táksəs] (pl. -tax-es [-si:z]) -th [θ] -the-ci-um [θi:fiəm, -siəm] -the-ism [ˈ - θi:izəm, ˈ - θi(:)izəm] -the-ist [ˈ - θi:əst, ˈ - θi:] -therm [θà:rm] -ther-my [θà:rmí] -tome [tòum] -to-nia [tóunia] -tron [tran] -trope [tròup] -troph-ic [tráfik, tróu-] -tro-phy [ˈ - trəfi] -trop-ic [trápik, tróu-] -tro-pism [trəpizəm, tróupizəm] -tro-pous [trəpəs] -tro-py [ˈ - trəpi] -ty [ti]

W -ward [wərd] -wards [wərdz]

Y -y [i]

Z -zoa [zóua] -zo-ic [zóuik] -zoon [zóuan] -zy-gous [záigəs, zíg-] -zyme [ˈ - zàim, ˈ - zaim]

目 次

まえがき v-vi

凡 例 viii-xix

見出し語 viii 語義と語法 xi

発 音 ix 用例と成句 xii

品 詞 xi 語 源 xiii

語形変化 xi 諸記号の用法 xiii

略 語 表 xv

言語名の略形 xvi

Shakespeare 作品の略形 xvi

英訳聖書 (A.V.) 書名の略形 xvii

発音記号表 xviii

発音省略語尾一覧表 xix

A—Z 1-2540

付 録 2541-2569

アルファベット表など 2541

特殊記号・換算表 2542

英米史・世界史年表 2543

地 図 2557

英 国 2557 南アメリカ 2563

ヨーロッパ 2558 アフリカ 2564

アジア 2560 世 界 表見返し

北アメリカ 2562 米 国 裏見返し

各国の通貨 2565

執筆・調査・校正協力者など 2570